

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人 京都総合福祉協会 京都市児童療育センター「きらきら園」		公表日	2025年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		・こどもの状況に合わせ、既存の教具教材を使ったり、手作りしたりしている。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		・当事業所で把握している希望者の数には適切に配置できている。	・潜在的な希望者がどれくらいいるのかわからない。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		・担当者が少ないので「広く」というほどではないが、相談支援事業所が開催するサービス担当者会議には事業所内外から関係者が参加し、目標設定と振り返りにかかわっている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	1		・取り入れる前に支援期間が終了してしまったケースもあったため、時期を検討したい。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		2		・保育所等訪問支援に限って言えば、事業が始まったばかりであり、担当者個人の努力に任されている。 ・機会をつくって研修会などに積極的に参加したい。
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		・事前のアセスメントで聞き取りを行っている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		・訪問支援の担当者は一人だが、実施予定内容については訪問先の職員と共有している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		・訪問支援の担当者は一人だが、実施内容については訪問先の職員と共有している。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		・特に入り込みで支援を行う時間帯は、訪問先の方針に合わせて支援を実施している。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2				

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		・サービス担当者会議には、児童福祉センターのケースワーカーも参加した。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		・小学校の担任は担当者会議には出席できなかったが、書面で支援内容について共有した。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	2		・保育所等訪問支援に限って言えば、事業が始まったばかりであり、担当者個人の努力に任されている。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		・管理者が参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2		・保護者が多忙で面談があまりできないので、毎回メールや写真で報告を行っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		・報告の際、具体的な働きかけ方や支援に使った教材を伝えるようにしている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		・支援開始前に、管理者が訪問して説明した。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		・支援開始前に、こども本人および保護者の聴き取りを行った。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		・保護者に訪問時の報告をする流れで、日々の困りごとやこどもの良いエピソードを聴取して共有や対応をしている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	2		・保護者個人への報告は行っているが、広く公表はしていない。
訪問先施設への...	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		・訪問先の環境やスケジュールについても相談に応じた。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		・立ち話であっても、毎回話し合いをする機会を持っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		・支援実施内容について、毎回訪問先職員と共有している。 ・家族等には、支援内容とともに、訪問先とも共有していることを報告している。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		・訪問先の環境やスケジュールについても相談に応じた。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		2	・当事業所主導では実施していない。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		2	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		・ヒヤリハット報告書で共有する。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		・他の事業も含め、全体で実施している。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		・必要な場合には記載する。